

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 江崎グリコ株式会社

コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日 平成22年2月2日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	222,197	△1.9	12,402	83.1	13,143	74.0	7,749	—
21年3月期第3四半期	226,504	—	6,772	—	7,555	—	△148	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	68.26	—
21年3月期第3四半期	△1.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	205,326	108,048	51.6	933.91
21年3月期	193,051	100,107	51.0	866.55

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 106,019百万円 21年3月期 98,400百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期 (予想)				10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	287,700	△0.5	10,500	64.0	10,700	48.7	6,300	—	55.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 144,860,138株 21年3月期 144,860,138株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 31,337,938株 21年3月期 31,305,826株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 113,536,659株 21年3月期第3四半期 126,402,987株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

売上高は、牛乳・乳製品部門及び食品部門が増収となりましたが、菓子部門、冷菓部門、畜産加工品部門は減収となったため、全体では222,197百万円(前年同期比98.1%)となりました。利益面につきましては、製品規格の見直し等による売上原価率のダウンや広告宣伝費の減少等により、営業利益は12,402百万円(前年同期比183.1%)、経常利益は13,143百万円(前年同期比174.0%)、四半期純利益は7,749百万円となりました。

なお、各部門別の売上の状況は添付資料の8ページに記載しておりますのでご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状態は、以下のとおりであります。

総資産は、短期資金運用による有価証券の増加等により、205,326百万円(前連結会計年度末に対して12,274百万円の増加)となりました。純資産は、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加等により、108,048百万円(前連結会計年度末に対して7,941百万円の増加)となり、自己資本比率は51.6%(前期末比+0.6%)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績見込につきましては、平成21年10月19日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,284	11,198
受取手形及び売掛金	31,922	29,971
有価証券	20,090	9,900
商品及び製品	7,478	8,445
仕掛品	830	932
原材料及び貯蔵品	10,621	10,841
その他	4,507	5,983
貸倒引当金	△167	△95
流動資産合計	88,567	77,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,602	21,291
機械装置及び運搬具（純額）	25,548	25,623
土地	11,595	14,647
その他（純額）	6,606	4,900
有形固定資産合計	64,352	66,463
無形固定資産		
ソフトウェア	978	590
その他	2,484	1,493
無形固定資産合計	3,462	2,083
投資その他の資産		
投資有価証券	36,115	36,819
その他	13,404	10,901
貸倒引当金	△575	△392
投資その他の資産合計	48,943	47,328
固定資産合計	116,758	115,875
資産合計	205,326	193,051
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,722	28,942
短期借入金	10,945	21,862
未払費用	19,957	18,559
未払法人税等	3,212	872
役員賞与引当金	—	88
販売促進引当金	1,091	1,195
その他	5,033	4,823
流動負債合計	70,962	76,342

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	10,005	5
退職給付引当金	11,690	12,133
役員退職慰労引当金	186	344
その他	4,433	4,117
固定負債合計	26,315	16,601
負債合計	97,277	92,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,426	7,426
利益剰余金	118,982	112,935
自己株式	△26,671	△26,639
株主資本合計	107,511	101,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	315	△1,228
繰延ヘッジ損益	△529	△635
為替換算調整勘定	△1,277	△1,231
評価・換算差額等合計	△1,491	△3,095
少数株主持分	2,029	1,707
純資産合計	108,048	100,107
負債純資産合計	205,326	193,051

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	226,504	222,197
売上原価	133,379	124,916
売上総利益	93,125	97,281
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	20,242	20,158
販売促進費	24,355	25,587
広告宣伝費	10,818	9,585
貸倒引当金繰入額	61	70
退職給付引当金繰入額	591	868
販売促進引当金繰入額	1,053	—
その他	29,230	28,607
販売費及び一般管理費合計	86,353	84,878
営業利益	6,772	12,402
営業外収益		
受取利息	334	297
受取配当金	653	534
その他	1,042	980
営業外収益合計	2,030	1,812
営業外費用		
支払利息	248	219
為替差損	269	51
その他	728	800
営業外費用合計	1,247	1,071
経常利益	7,555	13,143
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	52
固定資産売却益	257	—
投資有価証券売却益	162	44
その他	2	—
特別利益合計	422	97
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	250
減損損失	—	167
投資有価証券評価損	4,342	98
その他	376	12
特別損失合計	4,718	527
税金等調整前四半期純利益	3,259	12,713
法人税、住民税及び事業税	1,876	3,971
法人税等調整額	1,149	704
法人税等合計	3,026	4,675
少数株主利益	381	287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148	7,749

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当連結グループは食料品の製造、販売のみの事業であり、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

・販売の状況

(単位:百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		増減額	対前年 同期比	(参考) 前連結会計年度 (平成21年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
菓子	66,891	29.5	62,987	28.3	△3,903	94.2	87,922	30.4
冷菓	49,822	22.0	49,203	22.1	△619	98.8	58,659	20.3
牛乳・乳製品	66,002	29.1	66,562	30.0	560	100.8	85,452	29.6
食品	18,264	8.1	19,030	8.6	765	104.2	23,889	8.3
畜産加工品	25,523	11.3	24,413	11.0	△1,109	95.7	33,090	11.4
合計	226,504	100.0	222,197	100.0	△4,307	98.1	289,015	100.0

各事業部門別の状況は下記のとおりです。

<菓子部門>

国内では、新製品“かるじゃが”、“スクイーズ”が売上を伸ばし、“チーザ”も前年同期を上回りましたが、「ポッキーグループ」、「プリッツグループ」、「バンホーテンチョコレート」等は前年同期を下回りました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は62,987百万円となり、前年同期(66,891百万円)に比べ5.8%の減収となりました。

<冷菓部門>

主力の“アイスの実”が好調に推移し、“バリッテ”も順調に売上を伸ばしました。一方、“パピコ”、“牧場しぼり”等は前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49,203百万円となり、前年同期(49,822百万円)に比べ1.2%の減収となりました。

<牛乳・乳製品部門>

新製品“プッチンプリンいちご”や“ドロリッチ”が順調に売上を伸ばし、“カフェオーレ”も前年同期を上回りました。一方、清涼飲料やヨーグルトは前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は66,562百万円となり、前年同期(66,002百万円)に比べ0.8%の増収となりました。

<食品部門>

主力の“2段熟カレー”が前年同期を上回り、“ちょい食べカレー”等の「レトルトカレー」も順調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,030百万円となり、前年同期(18,264百万円)に比べ4.2%の増収となりました。

<畜産加工品部門>

ソーセージ及びベーコン等が前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,413百万円となり、前年同期(25,523百万円)に比べ4.3%の減収となりました。